



平成 25 年 7 月 26 日

各 位

会 社 名 フリービット株式会社  
(コード番号 3843:東証マザーズ)  
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号  
代 表 者 代表取締役社長 石田 宏樹  
問 合 せ 先 グループ経営管理本部長 清水 高  
電 話 番 号 03-5459-0522(代表)  
(URL <http://www.freebit.com/>)

(訂正)「平成23年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年6月26日付の当社適時開示「6月7日に開示致しました「当社連結子会社における不明瞭な取引及び会計処理に関するお知らせ」についての調査状況及び決算発表予定日についてのご報告」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成22年12月14日付「平成23年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成23年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月14日

上場取引所 東

上場会社名 フリービット株式会社

コード番号 3843 URL <http://www.freebit.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 宏樹

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 田中 伸明 TEL 03-5459-0522

四半期報告書提出予定日 平成22年12月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年4月期第2四半期の連結業績(平成22年5月1日~平成22年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第2四半期	10,172	51.7	△133	-	△37	-	△236	-
22年4月期第2四半期	6,705	25.9	196	△77.2	424	△48.8	393	△54.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第2四半期	△4,716.90	-
22年4月期第2四半期	8,074.16	7,811.25

(注) 平成23年4月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第2四半期	22,399	7,356	31.2	140,711.30
22年4月期	16,022	7,834	47.4	150,197.44

(参考) 自己資本 23年4月期第2四半期 6,980百万円 22年4月期 7,601百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	-	0.00	-	3,600.00	3,600.00
23年4月期	-	0.00	-	-	-
23年4月期(予想)	-	-	-	3,600.00	3,600.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年4月期の連結業績予想(平成22年5月1日~平成23年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	70.0	1,000	145.3	1,050	30.6	200	△80.4	4,008.66

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

株式会社フルスピード、株式会社ベッ  
新規 3社（社名 コアメ・インターネット、ギルドコー）、除外 1社（社名）  
ポレーション株式会社

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年4月期2Q	51,002株	22年4月期	51,002株
② 期末自己株式数	23年4月期2Q	1,390株	22年4月期	390株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年4月期2Q	50,120株	22年4月期2Q	48,767株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. その他の情報 .....	5
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書 .....	8
(第2四半期連結累計期間) .....	8
(第2四半期連結会計期間) .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の業績が回復基調を見せているものの、欧米をはじめとした経済鈍化懸念もあって円高が急進し、国内の雇用情勢や景気の先行きは未だ不透明な状況で推移しております。

インターネットの分野においては、FTTH（光ファイバー）接続が増加したことにより、ブロードバンド契約者数が平成22年6月末時点で3,354万契約となる（総務省公表値）など、利用者数の増加とともに、通信環境の高品質化が引き続き進展しております。

このような環境の中、当社グループは、これまで行ってきた構造改革や成長ドライバーへの投資を結実させるべく事業展開を行うとともに、新たにInternetMarketing事業を取り込むことで事業リソースの拡充と事業規模の拡大をはかりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は10,172,683千円（前年同四半期比51.7%増）となりました。営業損失は133,345千円（前年同四半期は営業利益196,281千円）、経常損失は37,064千円（前年同四半期は経常利益424,911千円）、四半期純損失は236,412千円（前年同四半期は四半期純利益393,750千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、企業のWeb戦略支援等を行う株式会社フルスピード（以下、「フルスピード」といいます）及びフルスピード子会社でアパレルの製造・販売を行うギルドコーポレーション株式会社を連結の範囲に含めたため、報告セグメントとして「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を追加しております。また、「その他衣料販売」カテゴリーに関しましては、当社グループとしましてはノンコア事業の位置づけとなっており、早期切り離しの方向となっております。

事業切り離し後は、当報告セグメント自体が削除される予定です。

## ① ISP's ISP

ISP's ISP事業につきましては、既存顧客へのサービス提供が順調に推移したとともに、株式会社ベッコーメ・インターネットを新たに連結子会社化したことで事業規模が拡大し、売上高、営業利益とも大幅に増加いたしました。また、これに伴い費用も増加いたしました。ネットワークをはじめとした効率の改善をはかることによって、利益率の向上にも努めました。以上の結果、売上高は3,384,355千円、営業利益は434,593千円となりました。

## ② iDC's iDC

iDC's iDC事業につきましては、仮想化技術によるクラウド型のデータセンターサービスへ経営資源の集中をはかり、新規クラウド系サービスの拡販に努めております。新規サービスであるため費用が先行してはいますが、コストパフォーマンスや利便性の評価の高まりに比例して利用者は拡大傾向にあります。以上の結果、売上高は1,089,732千円、営業損失は143,114千円となりました。

## ③ Maker's Maker

Maker's Maker事業につきましては、商品ラインナップの選択と集中、在庫の圧縮、ServersManによる製品の独自性の打ち出しなど、薄利多売型から高付加価値型への転換をはかっております。また、中国におけるM2M市場への本格参入に向けた先行投資も進めており、事業提携を行うとともに、合弁会社を設立した中国大手デジタルコンシューマー機器メーカー「愛国者（aigo）」との連携の強化をはかっております。以上の結果、売上高は1,099,232千円、営業損失は154,971千円となりました。

## ④ B2C

B2C事業につきましては、株式会社ドリーム・トレイン・インターネットにおいて個人向けクラウドサービスなどの新規サービスを開始し、接続サービス以外の収益を確保するべく積極的に新サービスの開発をはかるとともに、既存サービスについてもコストパフォーマンスを高めるなど、顧客価値の向上に努めました。

相対的に競争力の低いひかりoneTタイプ（旧TEPCOひかり）サービスからの撤退による一時的な損失が発生したことや今後の会費収入を増加させるためにマーケティング費用を大きく投じる等、将来に向けた構造改革に取り組んだために費用が先行してはしましたが、会員獲得が回復の兆しを見せるとともに、費用も収斂する傾向にあります。以上の結果、売上高は2,020,329千円、営業損失は127,510千円となりました。

⑤ InternetMarketing

InternetMarketing事業につきましては、新たに連結子会社化した株式会社フルスピードを中心に、Webマーケティングなどの企業のWeb戦略支援等を行っております。

成功報酬型が主流であるSEO（検索エンジン最適化）やリスティング広告を法人向け有料会員制サービス「フルスピードクラブ」に組み入れて継続提供したことで、利用者の利便性が向上しフルスピードクラブの会員数が順調に増加しました。また、継続収入型のフルスピードクラブの会員獲得に注力したことで収益基盤が安定した結果、売上高は1,457,823千円、営業利益は96,902千円となりました。

⑥ その他衣料販売

その他衣料販売事業につきましては、新たに連結子会社としたフルスピードの子会社であるギルドコーポレーション株式会社によるアパレルの製造・販売を対象としたものであります。当カテゴリーに関しましては、当社グループのノンコア事業の位置づけであり、また早期切り離しを予定しておりますが、会計基準に基づき、報告セグメントとして追加しております。当報告セグメントは当事業の切り離し後、報告セグメント自体が削除される予定となっております。

当報告セグメントにおきましては、残暑が長引いた影響により秋冬物の立ち上がりが鈍い状況であったため、秋冬物の様々な販促施策を推進することで、利益の確保に努めました。以上の結果、売上高は1,394,576千円、営業利益は58,874千円となりました。

⑦ SI

SI事業につきましては、当社連結子会社の株式会社ギガプライズが核となり事業展開を行っております。取引先の縮小や新規取引先の獲得の遅れがあったものの、強みとする医療分野のシステム受託や当社との連携強化によって、売上・利益の確保に努めました。以上の結果、売上高は450,274千円、営業利益は20,818千円となりました。

⑧ その他

その他事業につきましては、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テレコミュニケーション事業等が含まれております。売上高は300,358千円、営業利益は26,755千円となりました。

※ 当社は、前第2四半期連結累計期間において、インターネット関連事業の単一セグメントとして開示しておりましたが、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等の適用により、第1四半期連結会計期間より、「ISP's ISP」「iDC's iDC」「Maker's Maker」「B2C」及び「SI」の5報告セグメント及び「その他」に分類して開示しております。また、当第2四半期連結会計期間より、「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を新設したことで7つの報告セグメントに分類して開示しております。

セグメント	事業の内容
ISP's ISP	ISP事業者向けに、ネットワークサービスを提供しております。
iDC's iDC	独自の仮想化技術によるクラウド系サービス等を提供しております。
Maker's Maker	ユビキタス家電の製造／販売、ライセンス提供等を行っております。
B2C	個人向けにインターネット接続サービス等を提供しております。
InternetMarketing	Webマーケティングなどを中心に、企業のWeb戦略支援等を行っております。
その他衣料販売	アパレルの製造・販売を行っております。なお当報告セグメントに関しましては、ノンコア事業の位置づけとなっており、早期切り離しの方向となっております。
SI	様々なアプリケーションソフトの受託開発を行っております。

当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間の業績比較

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	差異	対前年同期 増減率
売上高	6,705	<u>10,172</u>	<u>3,467</u>	<u>+51.7%</u>
売上総利益	2,447	<u>3,499</u>	<u>1,051</u>	<u>+43.0%</u>
販売費及び一般管理費	2,251	<u>3,632</u>	<u>1,381</u>	<u>+61.4%</u>
営業利益又は営業損失 (△)	196	<u>△133</u>	<u>△329</u>	＝
経常利益又は経常損失 (△)	424	<u>△37</u>	<u>△461</u>	＝
四半期純利益又は四半 期純損失(△)	393	<u>△236</u>	<u>△630</u>	＝

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産合計は22,399,728千円となり、前年度末と比べて6,377,413千円増加しました。これは、主として株式会社フルスピードを子会社化したこと等により、受取手形及び売掛金が1,211,220千円、のれんが3,124,149千円増加したことによるものです。

負債合計は15,042,974千円となり、前年度末と比べて6,854,997千円増加しました。これは、主として株式会社フルスピードを子会社化したこと等により、短期借入金が3,019,311千円、1年内返済予定の長期借入金が951,512千円及び長期借入金が1,032,578千円増加したことによるものです。

純資産合計は、主に自己株式の取得により自己株式が増加したこと及び配当金の支払いや四半期純損失により利益剰余金が減少したこと等により、前年度末に比べて477,583千円減の7,356,753千円となり、この結果、自己資本比率は31.2%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は4,185,908千円となり、前年度末と比較して760,490千円減少しました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動による資金は36,139千円の増加（前年同四半期は1,108,165千円の増加）となりました。これは主に、未払金の減少額が486,230千円、法人税等の支払額が229,713千円あったものの、のれん償却額が455,533千円、減価償却費が304,469千円あったことによるものです。

## ＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動による資金は706,475千円の減少（前年同四半期は600,861千円の減少）となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入が491,057千円あったものの、連結の範囲の変動を伴う子会社株式の取得による支出が845,752千円あったことによるものです。

## ＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動による資金は87,965千円の減少（前年同四半期は1,556,875千円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が578,254千円あったものの、長期借入れによる収入が646,800千円あったことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月期の通期の連結業績予想につきましては、概ね予想通り推移しているため、平成22年9月8日に発表しました数値から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

当第2四半期連結会計期間において、株式会社フルスピード株式を新たに取得したことにより、株式会社フルスピード及びその連結子会社である株式会社ベッコアム・インターネット及びギルドコーポレーション株式会社を当社の連結子会社といたしました。

なお、上記ギルドコーポレーション株式会社は、「その他衣料販売」報告セグメントに属しノンコア事業の位置づけとなっており、早期切り離しの方向となっております。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間において、営業損失は10,104千円増加、経常損失は10,104千円増加、税金等調整前四半期純損失は78,634千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は46,808千円（うち連結子会社取得による増加額41,850千円）であります。

#### ・「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。なお、この変更が四半期財務諸表に与える影響はありません。

#### ・企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社が複数の金融機関との間で締結しているシンジケートローン契約（当第2四半期連結会計期間末時点の残高は1,320,000千円）には財務制限条項が定められており、主としてB2C事業の構造改革及びiDC's iDC事業の新規サービスにかかる先行費用の発生や投資有価証券評価損の計上により当第2四半期連結累計期間において四半期純損失を計上し、当該財務制限条項に抵触したため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しています。

この状況を改善させるための対応策として、全ての貸付人に四半期純損失の発生理由ならびに今期の着地見通しについて説明及び協議を行い、その結果として平成22年12月10日付で全ての貸付人から、期限の利益を喪失させることのできる権利の放棄要請に対する承諾通知書を入手しております。このため、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと判断しております。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,201,924	4,946,398
受取手形及び売掛金	3,545,140	2,333,919
商品及び製品	1,012,070	372,071
仕掛品	9,807	26,233
原材料及び貯蔵品	16,405	1,428
その他	1,794,725	1,157,435
貸倒引当金	△101,246	△48,566
流動資産合計	10,478,827	8,788,921
固定資産		
有形固定資産	1,591,828	805,307
無形固定資産		
のれん	7,222,341	4,098,191
ソフトウェア	301,872	242,327
その他	35,613	35,666
無形固定資産合計	7,559,827	4,376,186
投資その他の資産		
投資有価証券	1,435,968	1,119,803
差入保証金	855,059	727,859
その他	1,070,938	235,304
貸倒引当金	△592,720	△31,068
投資その他の資産合計	2,769,245	2,051,899
固定資産合計	11,920,901	7,233,393
資産合計	22,399,728	16,022,314
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	977,892	162,499
短期借入金	4,902,314	1,883,002
1年内返済予定の長期借入金	1,708,360	756,848
未払金	2,764,071	2,010,516
未払法人税等	130,904	107,847
引当金	106,714	43,217
その他	831,659	693,803
流動負債合計	11,421,916	5,657,735
固定負債		
社債	450,000	400,000
長期借入金	2,111,418	1,078,840
引当金	4,387	16,746
資産除去債務	57,946	—
負ののれん	511,336	676,671
その他	485,969	357,982
固定負債合計	3,621,057	2,530,241
負債合計	15,042,974	8,187,977

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,042,385	3,042,385
資本剰余金	1,670,602	1,670,602
利益剰余金	<u>2,632,533</u>	3,018,090
自己株式	△364,327	△135,204
株主資本合計	<u>6,981,193</u>	7,595,873
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△224	5,919
評価・換算差額等合計	<u>△224</u>	5,919
少数株主持分	<u>375,784</u>	232,544
純資産合計	<u>7,356,753</u>	7,834,337
負債純資産合計	<u>22,399,728</u>	16,022,314

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)
売上高	6,705,262	<u>10,172,683</u>
売上原価	4,257,586	<u>6,673,199</u>
売上総利益	2,447,675	<u>3,499,484</u>
販売費及び一般管理費	2,251,394	<u>3,632,829</u>
営業利益又は営業損失(△)	196,281	<u>△133,345</u>
営業外収益		
受取利息	1,881	3,324
受取配当金	50	119
有価証券売却益	149	—
負ののれん償却額	150,006	165,335
助成金収入	115,511	—
その他	2,643	52,519
営業外収益合計	270,243	221,298
営業外費用		
支払利息	36,442	62,419
持分法による投資損失	—	27,332
支払手数料	—	26,000
その他	5,171	9,264
営業外費用合計	41,613	125,016
経常利益又は経常損失(△)	424,911	<u>△37,064</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,167	7,339
事業譲渡益	—	39,706
助成金収入	59,185	—
その他	158	279
特別利益合計	68,510	47,325
特別損失		
固定資産除却損	5,553	10,810
投資有価証券評価損	—	84,863
持分変動損失	80	—
訴訟関連損失	3,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,529
その他	—	12,561
特別損失合計	8,633	176,766
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	484,787	<u>△166,504</u>
法人税、住民税及び事業税	21,173	117,882
法人税等調整額	61,880	<u>△55,941</u>
法人税等合計	83,053	<u>61,940</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	<u>△228,445</u>
少数株主利益	7,983	<u>7,966</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	393,750	<u>△236,412</u>

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)
売上高	3,478,170	6,554,781
売上原価	2,173,837	4,133,072
売上総利益	1,304,332	2,421,709
販売費及び一般管理費	1,234,297	2,412,500
営業利益	70,035	9,208
営業外収益		
受取利息	852	2,570
負ののれん償却額	82,667	82,667
助成金収入	928	—
その他	896	37,336
営業外収益合計	85,344	122,574
営業外費用		
支払利息	18,234	40,066
支払手数料	—	26,000
その他	3,368	4,221
営業外費用合計	21,602	70,287
経常利益	133,776	61,494
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,329	15,441
事業譲渡益	—	39,706
その他	5	279
特別利益合計	1,335	55,427
特別損失		
固定資産除却損	5,509	10,769
投資有価証券評価損	—	84,863
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	39,909
訴訟関連損失	3,000	—
その他	—	12,561
特別損失合計	8,509	148,104
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	126,602	△31,182
法人税、住民税及び事業税	15,663	90,648
法人税等調整額	△2,661	△24,711
法人税等合計	13,001	65,936
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△97,118
少数株主利益	6,885	3,863
四半期純利益又は四半期純損失(△)	106,715	△100,982

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	484,787	<u>△166,504</u>
減価償却費	178,091	<u>304,469</u>
のれん償却額	321,436	<u>455,533</u>
負ののれん償却額	△150,006	△165,335
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,175	12,084
受取利息及び受取配当金	△1,931	△3,443
支払利息	36,442	62,419
為替差損益(△は益)	8	△12,733
助成金収入	△174,696	—
持分法による投資損益(△は益)	—	27,332
投資有価証券評価損益(△は益)	—	84,863
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,529
売上債権の増減額(△は増加)	465,583	<u>230,771</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	20,780	△356,113
その他の流動資産の増減額(△は増加)	55,169	<u>149,006</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,135	<u>102,056</u>
未払金の増減額(△は減少)	5,858	△486,230
その他	△178,045	<u>21,134</u>
小計	988,168	<u>327,841</u>
利息及び配当金の受取額	1,846	1,494
利息の支払額	△31,870	△63,483
助成金の受取額	174,696	—
訴訟関連損失の支払額	△3,000	—
法人税等の還付額	7,663	—
法人税等の支払額	△29,339	△229,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,108,165	<u>36,139</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58,828	<u>△69,666</u>
無形固定資産の取得による支出	△23,262	△136,153
貸付けによる支出	—	△156,585
子会社株式の取得による支出	△385,275	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△845,752
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,402	—
差入保証金の回収による収入	3,904	491,057
差入保証金の差入による支出	△133,538	—
その他	△6,264	10,624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600,861	<u>△706,475</u>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△308,000	595,874
長期借入れによる収入	50,000	646,800
長期借入金の返済による支出	△360,900	△578,254
社債の償還による支出	—	△250,000
株式の発行による収入	2,332,769	—
自己株式の取得による支出	—	△230,644
配当金の支払額	△136,023	△179,954
リース債務の返済による支出	—	△76,026
その他	△20,971	△15,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,556,875	△87,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△2,188
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,064,176	△760,490
現金及び現金同等物の期首残高	4,020,018	4,946,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,084,194	4,185,908

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

当社及び連結子会社は、インターネット関連事業を主な事業としておりますが、当セグメントの売上高及び営業利益の金額が、それぞれ全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計の90%を超えておりますので、事業の種類別セグメント情報を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

重要な在外子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成22年10月31日)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱うサービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、サービスを基礎としたセグメントから構成されており、「ISP's ISP」「iDC's iDC」「Maker's Maker」「B2C」「InternetMarketing」「その他衣料販売」及び「SI」の7つを報告セグメントとしております。

「ISP's ISP」は、ISP事業者向けにネットワークサービスを提供しております。「iDC's iDC」は、独自の仮想化技術によるクラウド型サービス等を提供しております。「Maker's Maker」は、ユビキタス家電の製造/販売等を行っております。「B2C」は、個人向けにインターネット接続サービス等を提供しております。「InternetMarketing」は、Webマーケティングなどを中心に、企業のWeb戦略支援等を行っております。「その他衣料販売」は、アパレルの製造・販売を行っております。「SI」は、様々なアプリケーションソフトの受託開発を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成22年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ISP's ISP	iDC's iDC	Maker's Maker	B2C	Internet Marketing	その他衣料販売
売上高						
外部顧客への売上高	<u>2,590,940</u>	<u>1,059,184</u>	1,073,237	2,018,133	<u>1,439,797</u>	1,394,576
セグメント間の内部売上高又は振替高	793,414	30,548	25,995	2,196	18,025	—
計	<u>3,384,355</u>	<u>1,089,732</u>	1,099,232	2,020,329	<u>1,457,823</u>	1,394,576
セグメント利益又は損失(△)	<u>434,593</u>	<u>△143,114</u>	<u>△154,971</u>	△127,510	<u>96,902</u>	58,874

	報告セグメント	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	SI				
売上高					
外部顧客への売上高	296,456	300,358	<u>10,172,683</u>	—	<u>10,172,683</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	153,818	—	1,023,997	△1,023,997	—
計	450,274	300,358	<u>11,196,681</u>	△1,023,997	<u>10,172,683</u>
セグメント利益又は損失(△)	20,818	<u>26,755</u>	<u>212,349</u>	<u>△345,695</u>	<u>△133,345</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テレコミュニケーション事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△345,695千円には、のれん償却額△301,698千円、未実現利益の調整額△38,743千円及びその他の連結調整額△5,252千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成22年10月31日)

当第2四半期連結累計期間において、企業のWeb戦略支援等を行う株式会社フルスピード及びアパレルの製造・販売を行うギルドコーポレーション株式会社を連結の範囲に含めたため、報告セグメントとして「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を追加しております。

なお、「その他衣料販売」報告セグメントに関しましては、当社グループとしましてはノンコア事業の位置づけとなっており、早期切り離しの方向となっております。事業切り離し後は、当報告セグメント自体が削除される予定です。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間において、自己株式を720株、182,064千円、当第2四半期連結会計期間において、自己株式を280株、47,058千円を取得しております。なお、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は1,390株、364,327千円となっております。



(訂正前)



## 平成23年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月14日

上場取引所 東

上場会社名 フリービット株式会社

コード番号 3843 URL <http://www.freebit.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 宏樹

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 田中 伸明 TEL 03-5459-0522

四半期報告書提出予定日 平成22年12月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年4月期第2四半期の連結業績(平成22年5月1日～平成22年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第2四半期	10,189	52.0	△91	-	4	△98.9	△214	-
22年4月期第2四半期	6,705	25.9	196	△77.2	424	△48.8	393	△54.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第2四半期	△4,282.79	-
22年4月期第2四半期	8,074.16	7,811.25

(注) 平成23年4月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第2四半期	22,425	7,380	31.2	141,149.87
22年4月期	16,022	7,834	47.4	150,197.44

(参考) 自己資本 23年4月期第2四半期 7,002百万円 22年4月期 7,601百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	-	0.00	-	3,600.00	3,600.00
23年4月期	-	0.00	-	-	-
23年4月期(予想)	-	-	-	3,600.00	3,600.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年4月期の連結業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	70.0	1,000	145.3	1,050	30.6	200	△80.4	4,008.66

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

株式会社フルスピード、株式会社ベッ  
新規 3社（社名 コアメ・インターネット、ギルドコー）、除外 1社（社名）  
ポレーション株式会社

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年4月期2Q	51,002株	22年4月期	51,002株
② 期末自己株式数	23年4月期2Q	1,390株	22年4月期	390株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年4月期2Q	50,120株	22年4月期2Q	48,767株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. その他の情報 .....	5
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書 .....	8
(第2四半期連結累計期間) .....	8
(第2四半期連結会計期間) .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の業績が回復基調を見せているものの、欧米をはじめとした経済鈍化懸念もあって円高が急進し、国内の雇用情勢や景気の先行きは未だ不透明な状況で推移しております。

インターネットの分野においては、FTTH（光ファイバー）接続が増加したことにより、ブロードバンド契約者数が平成22年6月末時点で3,354万契約となる（総務省公表値）など、利用者数の増加とともに、通信環境の高品質化が引き続き進展しております。

このような環境の中、当社グループは、これまで行ってきた構造改革や成長ドライバーへの投資を結実させるべく事業展開を行うとともに、新たにInternetMarketing事業を取り込むことで事業リソースの拡充と事業規模の拡大をはかりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は10,189,404千円（前年同四半期比52.0%増）となりました。営業損失は91,771千円（前年同四半期は営業利益196,281千円）、経常利益は4,510千円（前年同四半期比98.9%減）、四半期純損失は214,654千円（前年同四半期は四半期純利益393,750千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、企業のWeb戦略支援等を行う株式会社フルスピード（以下、「フルスピード」といいます）及びフルスピード子会社でアパレルの製造・販売を行うギルドコーポレーション株式会社を連結の範囲に含めたため、報告セグメントとして「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を追加しております。また、「その他衣料販売」カテゴリーに関しましては、当社グループとしましてはノンコア事業の位置づけとなっており、早期切り離しの方向となっております。

事業切り離し後は、当報告セグメント自体が削除される予定です。

## ① ISP's ISP

ISP's ISP事業につきましては、既存顧客へのサービス提供が順調に推移したとともに、株式会社ベッコーメ・インターネットを新たに連結子会社化したことで事業規模が拡大し、売上高、営業利益とも大幅に増加いたしました。また、これに伴い費用も増加いたしました。ネットワークをはじめとした効率の改善をはかることによって、利益率の向上にも努めました。以上の結果、売上高は3,390,477千円、営業利益は463,991千円となりました。

## ② iDC's iDC

iDC's iDC事業につきましては、仮想化技術によるクラウド型のデータセンターサービスへ経営資源の集中をはかり、新規クラウド系サービスの拡販に努めております。新規サービスであるため費用が先行してはいますが、コストパフォーマンスや利便性の評価の高まりに比例して利用者は拡大傾向にあります。以上の結果、売上高は1,090,130千円、営業損失は137,176千円となりました。

## ③ Maker's Maker

Maker's Maker事業につきましては、商品ラインナップの選択と集中、在庫の圧縮、ServersManによる製品の独自性の打ち出しなど、薄利多売型から高付加価値型への転換をはかっております。また、中国におけるM2M市場への本格参入に向けた先行投資も進めており、事業提携を行うとともに、合弁会社を設立した中国大手デジタルコンシューマー機器メーカー「愛国者(aigo)」との連携の強化をはかっております。以上の結果、売上高は1,099,232千円、営業損失は150,640千円となりました。

## ④ B2C

B2C事業につきましては、株式会社ドリーム・トレイン・インターネットにおいて個人向けクラウドサービスなどの新規サービスを開始し、接続サービス以外の収益を確保するべく積極的に新サービスの開発をはかるとともに、既存サービスについてもコストパフォーマンスを高めるなど、顧客価値の向上に努めました。

相対的に競争力の低いひかりoneTタイプ（旧TEPCOひかり）サービスからの撤退による一時的な損失が発生したことや今後の会費収入を増加させるためにマーケティング費用を大きく投じる等、将来に向けた構造改革に取り組んだために費用が先行してはありますが、会員獲得が回復の兆しを見せるとともに、費用も収斂する傾向にあります。以上の結果、売上高は2,020,329千円、営業損失は127,510千円となりました。

⑤ InternetMarketing

InternetMarketing事業につきましては、新たに連結子会社化した株式会社フルスピードを中心に、Webマーケティングなどの企業のWeb戦略支援等を行っております。

成功報酬型が主流であるSEO（検索エンジン最適化）やリスティング広告を法人向け有料会員制サービス「フルスピードクラブ」に組み入れて継続提供したことで、利用者の利便性が向上しフルスピードクラブの会員数が順調に増加しました。また、継続収入型のフルスピードクラブの会員獲得に注力したことで収益基盤が安定した結果、売上高は1,468,023千円、営業利益は96,778千円となりました。

⑥ その他衣料販売

その他衣料販売事業につきましては、新たに連結子会社としたフルスピードの子会社であるギルドコーポレーション株式会社によるアパレルの製造・販売を対象としたものであります。当カテゴリーに関しましては、当社グループのノンコア事業の位置づけであり、また早期切り離しを予定しておりますが、会計基準に基づき、報告セグメントとして追加しております。当報告セグメントは当事業の切り離し後、報告セグメント自体が削除される予定となっております。

当報告セグメントにおきましては、残暑が長引いた影響により秋冬物の立ち上がりが鈍い状況であったため、秋冬物の様々な販促施策を推進することで、利益の確保に努めました。以上の結果、売上高は1,394,576千円、営業利益は58,874千円となりました。

⑦ SI

SI事業につきましては、当社連結子会社の株式会社ギガプライズが核となり事業展開を行っております。取引先の縮小や新規取引先の獲得の遅れがあったものの、強みとする医療分野のシステム受託や当社との連携強化によって、売上・利益の確保に努めました。以上の結果、売上高は450,274千円、営業利益は20,818千円となりました。

⑧ その他

その他事業につきましては、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テレコミュニケーション事業等が含まれております。売上高は300,358千円、営業利益は26,870千円となりました。

※ 当社は、前第2四半期連結累計期間において、インターネット関連事業の単一セグメントとして開示しておりましたが、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等の適用により、第1四半期連結会計期間より、「ISP's ISP」「iDC's iDC」「Maker's Maker」「B2C」及び「SI」の5報告セグメント及び「その他」に分類して開示しております。また、当第2四半期連結会計期間より、「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を新設したことで7つの報告セグメントに分類して開示しております。

セグメント	事業の内容
ISP's ISP	ISP事業者向けに、ネットワークサービスを提供しております。
iDC's iDC	独自の仮想化技術によるクラウド系サービス等を提供しております。
Maker's Maker	ユビキタス家電の製造／販売、ライセンス提供等を行っております。
B2C	個人向けにインターネット接続サービス等を提供しております。
InternetMarketing	Webマーケティングなどを中心に、企業のWeb戦略支援等を行っております。
その他衣料販売	アパレルの製造・販売を行っております。なお当報告セグメントに関しましては、ノンコア事業の位置づけとなっており、早期切り離しの方向となっております。
SI	様々なアプリケーションソフトの受託開発を行っております。

当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間の業績比較

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	差異	対前年同期 増減率
売上高	6,705	<u>10,189</u>	<u>3,484</u>	<u>+52.0%</u>
売上総利益	2,447	<u>3,512</u>	<u>1,065</u>	<u>+43.5%</u>
販売費及び一般管理費	2,251	<u>3,604</u>	<u>1,353</u>	<u>+60.1%</u>
営業利益又は営業損失 (△)	196	<u>△91</u>	<u>△288</u>	<u>△146.8%</u>
経常利益	424	<u>4</u>	<u>△420</u>	<u>△98.9%</u>
四半期純利益又は四半 期純損失(△)	393	<u>△214</u>	<u>△608</u>	<u>△154.5%</u>

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産合計は22,425,887千円となり、前年度末と比べて6,403,572千円増加しました。これは、主として株式会社フルスピードを子会社化したこと等により、受取手形及び売掛金が1,235,026千円、のれんが3,049,374千円増加したことによるものです。

負債合計は15,045,702千円となり、前年度末と比べて6,857,725千円増加しました。これは、主として株式会社フルスピードを子会社化したこと等により、短期借入金が3,019,311千円、1年内返済予定の長期借入金が951,512千円及び長期借入金が1,032,578千円増加したことによるものです。

純資産合計は、主に自己株式の取得により自己株式が増加したこと及び配当金の支払いや四半期純損失により利益剰余金が減少したこと等により、前年度末に比べて454,153千円減の7,380,184千円となり、この結果、自己資本比率は31.2%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は4,185,908千円となり、前年度末と比較して760,490千円減少しました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## &lt;営業活動によるキャッシュ・フロー&gt;

営業活動による資金は39,356千円の増加（前年同四半期は1,108,165千円の増加）となりました。これは主に、未払金の減少額が486,230千円、法人税等の支払額が229,713千円あったものの、のれん償却額が453,616千円、減価償却費が308,166千円あったことによるものです。

## &lt;投資活動によるキャッシュ・フロー&gt;

投資活動による資金は709,693千円の減少（前年同四半期は600,861千円の減少）となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入が491,057千円あったものの、連結の範囲の変動を伴う子会社株式の取得による支出が845,752千円あったことによるものです。

## &lt;財務活動によるキャッシュ・フロー&gt;

財務活動による資金は87,965千円の減少（前年同四半期は1,556,875千円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が578,254千円あったものの、長期借入れによる収入が646,800千円あったことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月期の通期の連結業績予想につきましては、概ね予想通り推移しているため、平成22年9月8日に発表しました数値から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

当第2四半期連結会計期間において、株式会社フルスピード株式を新たに取得したことにより、株式会社フルスピード及びその連結子会社である株式会社ベッコアム・インターネット及びギルドコーポレーション株式会社を当社の連結子会社といたしました。

なお、上記ギルドコーポレーション株式会社は、「その他衣料販売」報告セグメントに属しノンコア事業の位置づけとなっており、早期切り離しの方向となっております。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間において、営業損失は10,104千円増加、経常利益は10,104千円減少、税金等調整前四半期純損失は78,634千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は46,808千円（うち連結子会社取得による増加額41,850千円）であります。

#### ・「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。なお、この変更が四半期財務諸表に与える影響はありません。

#### ・企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社が複数の金融機関との間で締結しているシンジケートローン契約（当第2四半期連結会計期間末時点の残高は1,320,000千円）には財務制限条項が定められており、主としてB2C事業の構造改革及びiDC's iDC事業の新規サービスにかかる先行費用の発生や投資有価証券評価損の計上により当第2四半期連結累計期間において四半期純損失を計上し、当該財務制限条項に抵触したため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しています。

この状況を改善させるための対応策として、全ての貸付人に四半期純損失の発生理由ならびに今期の着地見通しについて説明及び協議を行い、その結果として平成22年12月10日付で全ての貸付人から、期限の利益を喪失させることのできる権利の放棄要請に対する承諾通知書を入手しております。このため、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと判断しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,201,924	4,946,398
受取手形及び売掛金	3,568,946	2,333,919
商品及び製品	1,012,070	372,071
仕掛品	9,807	26,233
原材料及び貯蔵品	16,405	1,428
その他	1,825,738	1,157,435
貸倒引当金	△101,246	△48,566
流動資産合計	10,533,646	8,788,921
固定資産		
有形固定資産	1,631,284	805,307
無形固定資産		
のれん	7,147,566	4,098,191
ソフトウェア	305,905	242,327
その他	35,613	35,666
無形固定資産合計	7,489,085	4,376,186
投資その他の資産		
投資有価証券	1,435,968	1,119,803
差入保証金	855,059	727,859
その他	1,028,563	235,304
貸倒引当金	△547,720	△31,068
投資その他の資産合計	2,771,870	2,051,899
固定資産合計	11,892,240	7,233,393
資産合計	22,425,887	16,022,314
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	981,642	162,499
短期借入金	4,902,314	1,883,002
1年内返済予定の長期借入金	1,708,360	756,848
未払金	2,759,300	2,010,516
未払法人税等	130,904	107,847
引当金	106,714	43,217
その他	835,408	693,803
流動負債合計	11,424,644	5,657,735
固定負債		
社債	450,000	400,000
長期借入金	2,111,418	1,078,840
引当金	4,387	16,746
資産除去債務	57,946	—
負ののれん	511,336	676,671
その他	485,969	357,982
固定負債合計	3,621,057	2,530,241
負債合計	15,045,702	8,187,977



(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,042,385	3,042,385
資本剰余金	1,670,602	1,670,602
利益剰余金	<u>2,654,291</u>	3,018,090
自己株式	<u>△364,327</u>	<u>△135,204</u>
株主資本合計	<u>7,002,951</u>	7,595,873
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	<u>△224</u>	5,919
評価・換算差額等合計	<u>△224</u>	5,919
少数株主持分	<u>377,457</u>	232,544
純資産合計	<u>7,380,184</u>	7,834,337
負債純資産合計	<u>22,425,887</u>	16,022,314

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)
売上高	6,705,262	<u>10,189,404</u>
売上原価	4,257,586	<u>6,676,421</u>
売上総利益	2,447,675	<u>3,512,982</u>
販売費及び一般管理費	2,251,394	<u>3,604,753</u>
営業利益又は営業損失(△)	196,281	<u>△91,771</u>
営業外収益		
受取利息	1,881	3,324
受取配当金	50	119
有価証券売却益	149	—
負ののれん償却額	150,006	165,335
助成金収入	115,511	—
その他	2,643	52,519
営業外収益合計	270,243	221,298
営業外費用		
支払利息	36,442	62,419
持分法による投資損失	—	27,332
支払手数料	—	26,000
その他	5,171	9,264
営業外費用合計	41,613	125,016
経常利益	424,911	<u>4,510</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,167	7,339
事業譲渡益	—	39,706
助成金収入	59,185	—
その他	158	279
特別利益合計	68,510	47,325
特別損失		
固定資産除却損	5,553	10,810
投資有価証券評価損	—	84,863
持分変動損失	80	—
訴訟関連損失	3,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,529
その他	—	12,561
特別損失合計	8,633	176,766
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	484,787	<u>△124,930</u>
法人税、住民税及び事業税	21,173	117,882
法人税等調整額	61,880	<u>△37,797</u>
法人税等合計	83,053	<u>80,084</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	<u>△205,015</u>
少数株主利益	7,983	<u>9,639</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	393,750	<u>△214,654</u>

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)
売上高	3,478,170	<u>6,571,501</u>
売上原価	2,173,837	<u>4,136,294</u>
売上総利益	1,304,332	<u>2,435,207</u>
販売費及び一般管理費	1,234,297	<u>2,384,424</u>
営業利益	70,035	<u>50,782</u>
営業外収益		
受取利息	852	2,570
負ののれん償却額	82,667	82,667
助成金収入	928	—
その他	896	37,336
営業外収益合計	85,344	122,574
営業外費用		
支払利息	18,234	40,066
支払手数料	—	26,000
その他	3,368	4,221
営業外費用合計	21,602	70,287
経常利益	133,776	<u>103,069</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,329	15,441
事業譲渡益	—	39,706
その他	5	279
特別利益合計	1,335	55,427
特別損失		
固定資産除却損	5,509	10,769
投資有価証券評価損	—	84,863
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	39,909
訴訟関連損失	3,000	—
その他	—	12,561
特別損失合計	8,509	148,104
税金等調整前四半期純利益	126,602	<u>10,392</u>
法人税、住民税及び事業税	15,663	90,648
法人税等調整額	△2,661	<u>△6,567</u>
法人税等合計	13,001	<u>84,080</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	<u>△73,688</u>
少数株主利益	6,885	<u>5,536</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	106,715	<u>△79,224</u>

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	484,787	<u>△124,930</u>
減価償却費	178,091	<u>308,166</u>
のれん償却額	321,436	<u>453,616</u>
負ののれん償却額	△150,006	<u>△165,335</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,175	12,084
受取利息及び受取配当金	△1,931	△3,443
支払利息	36,442	62,419
為替差損益(△は益)	8	△12,733
助成金収入	△174,696	—
持分法による投資損益(△は益)	—	27,332
投資有価証券評価損益(△は益)	—	84,863
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,529
売上債権の増減額(△は増加)	465,583	<u>261,983</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	20,780	△356,113
その他の流動資産の増減額(△は増加)	55,169	<u>107,830</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,135	<u>56,735</u>
未払金の増減額(△は減少)	5,858	△486,230
その他	△178,045	<u>36,283</u>
小計	988,168	<u>331,059</u>
利息及び配当金の受取額	1,846	1,494
利息の支払額	△31,870	△63,483
助成金の受取額	174,696	—
訴訟関連損失の支払額	△3,000	—
法人税等の還付額	7,663	—
法人税等の支払額	△29,339	△229,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,108,165	<u>39,356</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58,828	<u>△72,884</u>
無形固定資産の取得による支出	△23,262	△136,153
貸付けによる支出	—	△156,585
子会社株式の取得による支出	△385,275	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△845,752
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,402	—
差入保証金の回収による収入	3,904	491,057
差入保証金の差入による支出	△133,538	—
その他	△6,264	10,624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600,861	<u>△709,693</u>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△308,000	595,874
長期借入れによる収入	50,000	646,800
長期借入金の返済による支出	△360,900	△578,254
社債の償還による支出	—	△250,000
株式の発行による収入	2,332,769	—
自己株式の取得による支出	—	△230,644
配当金の支払額	△136,023	△179,954
リース債務の返済による支出	—	△76,026
その他	△20,971	△15,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,556,875	△87,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△2,188
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,064,176	△760,490
現金及び現金同等物の期首残高	4,020,018	4,946,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,084,194	4,185,908

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

当社及び連結子会社は、インターネット関連事業を主な事業としておりますが、当セグメントの売上高及び営業利益の金額が、それぞれ全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計の90%を超えておりますので、事業の種類別セグメント情報を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

重要な在外子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成22年10月31日)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱うサービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、サービスを基礎としたセグメントから構成されており、「ISP's ISP」「iDC's iDC」「Maker's Maker」「B2C」「InternetMarketing」「その他衣料販売」及び「SI」の7つを報告セグメントとしております。

「ISP's ISP」は、ISP事業者向けにネットワークサービスを提供しております。「iDC's iDC」は、独自の仮想化技術によるクラウド型サービス等を提供しております。「Maker's Maker」は、ユビキタス家電の製造/販売等を行っております。「B2C」は、個人向けにインターネット接続サービス等を提供しております。「InternetMarketing」は、Webマーケティングなどを中心に、企業のWeb戦略支援等を行っております。「その他衣料販売」は、アパレルの製造・販売を行っております。「SI」は、様々なアプリケーションソフトの受託開発を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成22年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ISP's ISP	iDC's iDC	Maker's Maker	B2C	Internet Marketing	その他衣料販売
売上高						
外部顧客への売上高	<u>2,597,063</u>	<u>1,059,582</u>	1,073,237	2,018,133	<u>1,449,997</u>	1,394,576
セグメント間の内部売上高又は振替高	793,414	30,548	25,995	2,196	18,025	—
計	<u>3,390,477</u>	<u>1,090,130</u>	1,099,232	2,020,329	<u>1,468,023</u>	1,394,576
セグメント利益又は損失(△)	<u>463,991</u>	<u>△137,176</u>	<u>△150,640</u>	△127,510	<u>96,778</u>	58,874

	報告セグメント	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	SI				
売上高					
外部顧客への売上高	296,456	300,358	<u>10,189,404</u>	—	<u>10,189,404</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	153,818	—	1,023,997	△1,023,997	—
計	450,274	300,358	<u>11,213,402</u>	△1,023,997	<u>10,189,404</u>
セグメント利益又は損失(△)	20,818	<u>26,870</u>	<u>252,006</u>	<u>△343,777</u>	<u>△91,771</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テレコミュニケーション事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△343,777千円には、のれん償却額299,780千円、未実現利益の調整38,743千円及びその他の連結調整額5,252千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成22年10月31日)

当第2四半期連結累計期間において、企業のWeb戦略支援等を行う株式会社フルスピード及びアパレルの製造・販売を行うギルドコーポレーション株式会社を連結の範囲に含めたため、報告セグメントとして「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を追加しております。

なお、「その他衣料販売」報告セグメントに関しましては、当社グループとしましてはノンコア事業の位置づけとなっており、早期切り離しの方向となっております。事業切り離し後は、当報告セグメント自体が削除される予定です。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間において、自己株式を720株、182,064千円、当第2四半期連結会計期間において、自己株式を280株、47,058千円を取得しております。なお、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は1,390株、364,327千円となっております。